

好んでの深川めしを食べたい方には是非とも。

このスレーブを手に

下町の風情と人情を詠歌で歌ひたる、

深川めしの店が17店舗。

門前仲町・清澄白河を中心とした

「深川めしの街」



## 深川めしとは…

江戸時代、現在の江東区永代、佐賀あたりの南方は深川浦と呼ばれ、潮が引けば砂が露出する砂州が広がっており、ここを漁場として幕府から漁業を認められていたのが深川の漁師でした。江戸時代の名産を記した『続江戸砂子』には、深川名産としてハマグリ、カキ、貝柱（アオヤギ）とあるように、多くの貝類が獲れていたことがうかがえます。

深川の漁師たちが仕事の合間に食べる賄い飯であった「ぶっかけめし」が現在の深川めしのルーツとされています。当時は、船上で海水を真水で薄めて沸かし、それにアサリ、長ネギ、豆腐を煮た澄まし汁を冷や飯にかけて食べたという話や塩茹でしたバカ貝（アオヤギ）をご飯に乗せて食べていたといわれています。

その後「ぶっかけめし」は、味噌やしようゆ仕立ての現在のぶっかけタイプに近いものが登場するようになりました。屋台や一膳飯屋でも出される手軽で簡単な食事ですから、今のファストフードのようなものだったと考えられます。

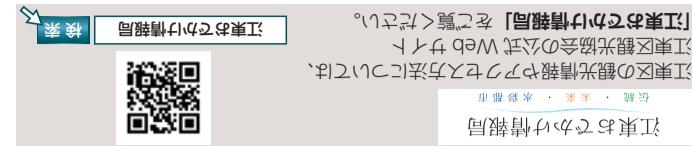
一方家庭では、アサリを入れた「炊き込みご飯」がお袋の味として広く



東都四季名所尽 すさき汐干狩

TEL: 03-6458-7400 MAIL: info@koto-kankō.jp  
〒135-0016 江東区東雲4-5-18 江東区産業会館内  
「江東区郷土文化情報局」(江東区郷土文化情報局)

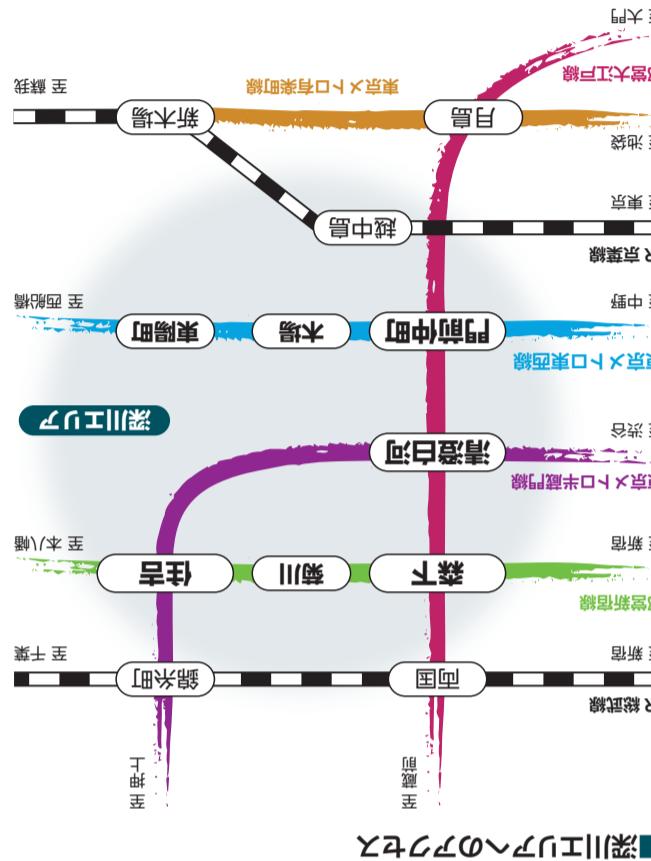
発行: 令和6年7月



木場公園第一駐車場 木場区木場4-1-1 TEL 03-3820-3526  
大型バス停の近くにあります。都立木場公園内駐車場と共同で運営されています。

新宿  
新宿上(スカイハイア) — 都営新宿線(4駅13分) — 清瀬駅  
渋谷 — 都営大江戸線(3駅7分) — 清瀬駅  
渋谷 — 都営大江戸線(10駅24分) — 門前仲町  
新宿 — 都営新宿線(12駅27分) — 門前仲町  
渋谷 — 都営新宿線(5駅9分) — 日暮里駅 — 門前仲町  
渋谷 — 都営新宿線(5駅9分) — 日暮里駅 — 門前仲町

■主要駅から深川駅へのルート



## 芭蕉記念館

☎ 03-3631-1448  
https://www.kcf.or.jp/basho/  
常盤 1-6-3

江戸時代の俳人・松尾芭蕉の「芭蕉庵」ゆかりの地に開館。「正月三日付空宛芭蕉書簡」をはじめ、近世から現代までの俳文資料を所蔵し企画展などで随時公開。200m離れた史跡展望庭園では、四季折々の水辺の風景が楽しめます。※会議室は俳句会、会議などに利用できます。(有料、要事前申込) 9時30分~17時(入館16時30分まで)、史跡展望庭園9時15分~16時30分。大人200円、小・中・高校生50円、史跡展望庭園は無料。第2・4月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始休館。



## 深川江戸資料館

☎ 03-3630-8625  
https://www.kcf.or.jp/fukagawa/  
白河 1-3-28

地下1階から地上2階までの吹き抜け空間に、江戸末期の深川佐賀町の町並みを実物大で想定再現し、昭和61年に開館。季節の変化に応じて生活用品や草花、照明・音響の演出を替えることで江戸の1日を15分で楽しむことができます。1階には「横綱大勝顕彰コーナー」(観覧無料)があり、番や化粧まわしなどが展示されています。大人400円、小・中・高校生等50円。9時30分~17時(入館は16時30分まで)。第2・4月曜(祝日の場合は開館)、年末年始休館。



## 深川東京モダン館

☎ 03-5639-1776  
https://www.fukagawatokyo.com/  
門前仲町 1-19-15

昭和7年に建築された国登録有形文化財「旧東京市深川食堂」を活用した施設です。1階はまちあるき案内所として江東区文化観光ガイドがおり(10時~16時)、2階はイベント等に利用できる多目的スペースもあり、落語・講談会やランチ営業、企画展示などさまざまな自主イベントも開催されています。無料。10時~18時、月曜(祝日の場合は翌日)休館。



## 深川七福神

森下駅・清澄白河駅・門前仲町駅周辺の3つの神社と4つの寺院にまつられています。年間を通して多くの方々に親しまれ、特に正月の開帳期間(元旦から1月7日まで)は色紙・笹・鈴の授与があり、数多くの参詣客でにぎわいます。所要時間は約2時間(参拝時間も含む)



## 成田山 深川不動堂

☎ 03-3641-8288  
https://fukagawafudou.gr.jp/  
富岡 1-17-13

深川のお不動様として知られ、毎月28日の縁日は大勢の参詣客でにぎわいます。元禄16年(1703)に始まった成田山新勝寺の出開帳(本尊を他所に出張して公開すること)が始まりで、それから毎年のように出開帳が行われ、江戸庶民の信仰を集めてきました。平成24年には斬新な新本堂が建立、話題になっています。



なりたさん ふかがわふどうどう

成田山 深川不動堂

☎ 03-3641-8288  
https://fukagawafudou.gr.jp/  
富岡 1-17-13

深川のお不動様として知られ、毎月28日の縁日は大勢の参詣客でにぎわいます。元禄16年(1703)に始まった成田山新勝寺の出開帳(本尊を他所に出張して公開すること)が始まりで、それから毎年のように出開帳が行われ、江戸庶民の信仰を集めてきました。平成24年には斬新な新本堂が建立、話題になっています。

ふかがわえんにち

深川縁日

門前仲町交差点の辺りから富岡八幡宮までの永代通りの北側歩道および深川不動堂の参道で毎月1日、15日、28日に開かれます。たこ焼き、あんず飴、わた飴、カルメ焼き等の懐かしい食べ物屋さんや占いの本、衣料品、鉢植え等の物販のお店が出店し、一年を通して夏祭りのようになります。